



United Nations
Climate Change



COP28 UAE

DUBAI 2023

COP28で決定した 「損失と損害」基金の運用化

WWFジャパン 自然保護室長 山岸 尚之

2024年1月26日

© Naoyuki Yamagishi

Advance unedited version

Decision -/CP.28 -/CMA.5

Operationalization of the new funding arrangements, including a fund, for responding to loss and damage referred to in paragraphs 2–3 of decisions 2/CP.27 and 2/CMA.4

The Conference of the Parties and the Conference of the Parties serving as the meeting of the Parties to the Paris Agreement,

Recalling decisions 2/CP.27 and 2/CMA.4,

Also recalling decisions 2/CP.27, paragraph 2, and 2/CMA.4, paragraph 2, by which new funding arrangements were established for assisting developing countries that are particularly vulnerable to the adverse effects of climate change, in responding to loss and damage, including with a focus on addressing loss and damage by providing and assisting in mobilizing new and additional resources, and which specify that these new arrangements complement and include sources, funds, processes and initiatives under and outside the Convention and the Paris Agreement,

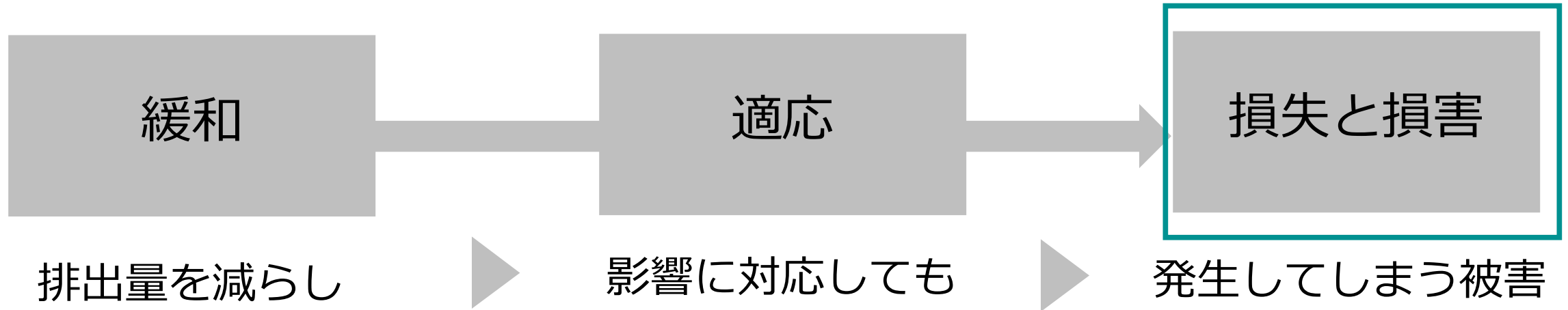
- 「損失と損害」は従来から、**最も合意が難しい**争点分野の一つ。
- COP28でも、**困難な交渉が予想されていた**。



初日に、損失と損害基金の運用化ルールが採択された

そもそも、交渉における重要争点を一つだけ先行させて初日に採択するというのは異例

「損失と損害」 (Loss and Damage)



異常な降雨量による洪水で人命が失われる、海面上昇によって土地が消失するといった事態を、どのように防ぎ、どのように救済するのか？

COP27での「損失と損害」に関する基金の設立決定



COP27は「アフリカのCOP」という背景の下、「損失と損害」に関する基金について議論

途上国

- 具体的な基金の設立を要求。
- 損失と損害は分野の性質上、公的資金の役割が大きい。



先進国

- 膨大な額になりえること、賠償・補償問題に繋がることを危惧。
- 既存の資金源や民間も含めた多様な資金源での対応を主張。

- **基金の設立を決定。**
- その基金を含む、**新しい資金面での措置**（new funding arrangements）の**詳細**の検討は、24か国の政府代表からなる**移行委員会**（transitional committee）において行うことを決定。

運用化に向けた論点の例と結果



どの機関が実質的に運用を担当するのか？

- 先進国は**世界銀行**管理下におきたい。
- 途上国は、世銀の影響力が大きくなることに危惧があった。
 - グラント（無償資金供与）よりも、融資中心になりがち
 - 意思決定での先進国の影響力大
 - 手続きが重く、災害等への対応なども含む損失と損害分野でスピーディーな資金供与を必要とされる国にできない



折衷案：条件付きで世銀が運用することでスタート

- （少なくとも）**最初の4年間は、世界銀行が管理していくこと**に
- ただし、事務局が世銀からは独立していることの確保、基金を管理するルールはCOPの下で決められたルールが世銀ルールに対して優先するなど**いくつかの条件を設定**
- それらの条件が半年以内に満たせなかったり、あるいは、第三者評価に基づいて理事会が**条件を満たしていないと判断した場合は、代替の機関の検討がただちに始まる**

表明された各国からの拠出（基金以外も含む）



総額7億7060万ドル（2023年12月8日時点）

国名	金額	国名	金額
UAE	1億米ドル	デンマーク	3500万デンマーククローネ
EU	2500万ユーロ	イタリア	1億ユーロ
アメリカ	1750万米ドル+α	オランダ	1500万ユーロ
ドイツ	1億ドル	スペイン	2000万ユーロ
イギリス	6000万ポンド	スロベニア	150万米ドル
日本	1000万米ドル	アイルランド	2500万ユーロ
カナダ	1600万カナダドル	フィンランド	300万ユーロ
ノルウェー	2500万米ドル	オーストラリア	1億豪ドル
フランス	1億ユーロ		

※ 新規ではないものも含む。また、これらのうち約1億1530万ドルは基金ではなく「資金面での措置」向け。

(出所) The Loss and Damage Collaboration. (2023) Did COP 28 get us closer to the world we want? Assessing the outcome on loss and damage.

<https://www.lossanddamagecollaboration.org/pages/did-cop-28-get-us-closer-to-the-world-we-want-assessing-the-outcome-on-loss-and-damage>